








CommuniMax AX/Apresiaシリーズ

ITネットワークが企業インフラとしてますます重要度を高める中、その中核となるスイッチは省エネルギー化および高信頼性への期待が高まってきている。日立のCommuniMax AX/Apresiaシリーズは従来の「トリプル認証機能」に加え、新たな顧客ニーズに応える機能を拡充した。

AX6300Sシリーズ フォールトトレラントスイッチ 	AX6600Sシリーズ フォールトトレラントスイッチ ダイナミック省電力 	AX6700Sシリーズ フォールトトレラントスイッチ ダイナミック省電力 
AX1200Sシリーズ ファーストイーサネット*L2スイッチ ダイナミック省電力 	AX2400Sシリーズ コンパクトギガビットL2スイッチ 10 G対応 	AX3600Sシリーズ コンパクトギガビットL3スイッチ 10 G対応 
CommuniMax AXシリーズ		
Apresia2000シリーズ ファンレスファーストイーサネットL2スイッチ 	Apresia4000シリーズ オールギガセキュリティL2スイッチ 超高速リダンダント 	注：*イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標である。
CommuniMax Apresiaシリーズ		

CommuniMax AXシリーズの特徴

ダイナミック省電力機能

この機能はこれまでの装置単体の電力削減に加え、「必要なときに、必要な部分に電力を供給し、不要な部分は電力供給を停止することで、電力消費のむだを削減する」という考え方である。

具体的には、深夜や休日のユーザー数や通信量が減少したときに、未使用ポートへの電力供給停止や動作クロック周波数を下げて消費電力を削減する^{※1)}。

また、省電力スケジュール機能^{※2)}を使い、日時・曜日指定による省電力状態、通常状態へ切り替えることによって省電力化を達成する。

FT(Fault Tolerant: フォールトトレラント) スイッチ

ミッションクリティカルなサービス環境が自明の条件として求められる今日、FTスイッチは万が一の障害時にも「止まらないシステム」を実現するネットワークを提供する。

従来の無停止システムは、VRRP (Virtual Router Redundancy Protocol) などのプロトコルによる冗長化が主流だが、ネットワークがますます複雑になり、逆にトラブル多発の原因となっていることがある。

FTスイッチは複雑化によるトラブルを解決するための新しい手段である。

具体的には、装置1台に2台分の機能を実装し^{※3)}、障害時の切り替えが高速 (50 ms) であるため、通信サービスに影響を与えない。

CommuniMax Apresiaシリーズの特徴

超高速リダンダント機能

スイッチのリダンダント機能は、従来のSTPからより安定した機能が求められている。

Apresia4000のMMRP-Plus (Multi Master Ring Protocol-Plus) は、STPの欠点を克服し、より機能性を向上させた超高速リダンダント機能である。

※1) AX6600S/6700S 対応

※2) AX6600S/6700S/1240S 対応

※3) AX6300S/6600S/6700S 対応

◆情報提供サイト◆

ネットワークソリューションに関して
<http://www.hitachi.co.jp/communiMAX/>

ネットワーク製品に関して
<http://www.hitachi.co.jp/network/>

◆お問い合わせ◆

<http://www.hitachi.co.jp/network/contact/>

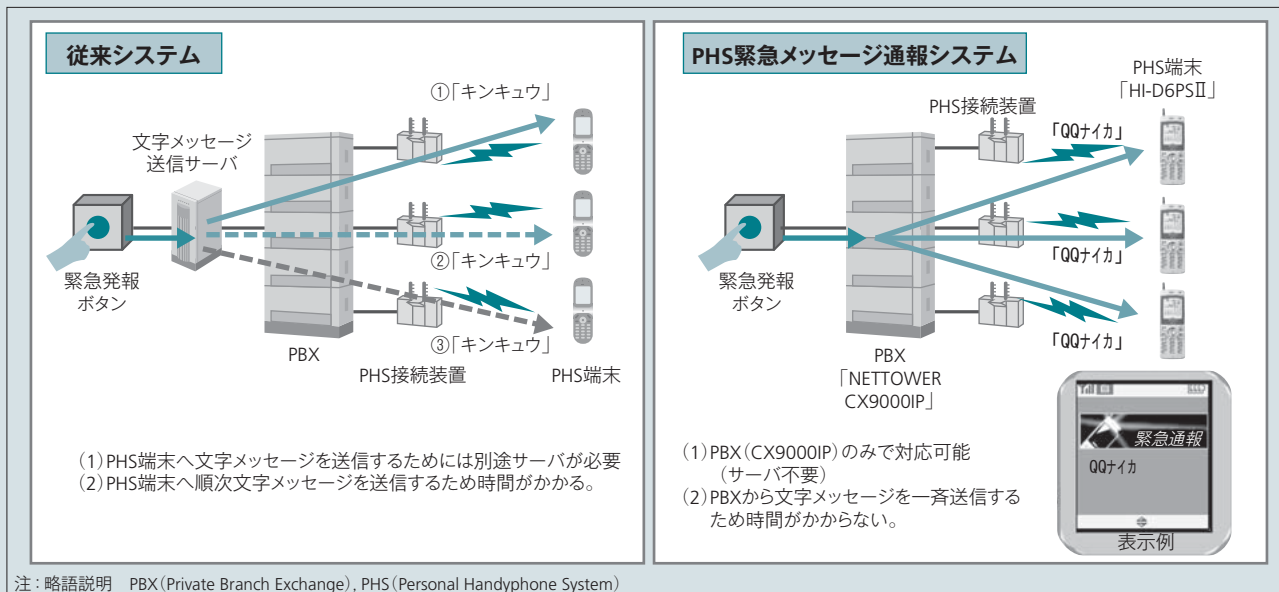
PHS 緊急メッセージ通報システム

PHS 緊急メッセージ通報システムは、PHS の制御チャネルを利用した独自制御を考案して実現したメッセージ一斉通報システムである。

これまでの順次発信方式の文字メッセージ送信システムと違い、

最大 120 台の PHS 端末にほぼ同時 (1 秒～最大 5 秒) にメッセージを送信することができる。

例えば、病院で利用した場合、緊急時における医師や看護スタッフ間の連絡が迅速になり、最善の対応が可能となる。



システムの特徴 (病院向けシステムの例)

メッセージを最大 120 台の端末へ一斉送信可能

従来のシステムでは、複数の構内 PHS (Personal Handyphone System) 端末へメッセージを送る場合、文字メッセージ送信サーバが必要で、このサーバが PHS 端末一台ごとに順次発信するため、端末の数が増えると、すべての端末にメッセージが到達するまでに時間を要した。そのため、一刻を争う場面の多い病院では、救急搬送時の現場の応援要請等で瞬時に同報連絡できるシステムへのニーズが高かった。

PHS 緊急メッセージ通報システムは、特殊なサーバが不要で、緊急呼出端末から 1～5 秒で最大 120 台までの構内 PHS 端末にメッセージ [最大半角 9 文字 (例:「QQ ナイカ」)] を一斉に送信できる。さらに構内 PHS 端末が通話中であったとしても、端末のスピーカから音で知らせて、通話終了後端末画面でメッセージを確認できるため、瞬時に、また確実にメッセージを届けられ、病院での緊急要請に対し、即座に適切に対応できる。

緊急呼出端末ごとに送信メッセージを登録

緊急呼出し時は、院内に設置した緊急呼出端末の操作 (緊急発報ボタンの押下や多機能電話機からの特番発信)

で PHS 緊急メッセージ通報システムに対応した PBX (NETTOWER CX9000IP) にメッセージ送信の指令をする。緊急呼出端末ごとに表示するメッセージは、CX9000IP に 50 種類まで登録できる。

緊急通報を音と色で知らせる PHS 端末

このシステムに対応した構内 PHS 端末 (HI-D6PS II) は、カラー液晶ディスプレイを搭載しており、メッセージの見落としを極力削減するため、緊急メッセージを受信すると緊急着信音鳴動とともに端末画面背景がオレンジ色の点滅をして緊急メッセージの受信を知らせる。

メッセージは緊急着信履歴に 20 件まで残り、「既読/未読」の分類が可能である。

PHS 緊急メッセージ通報システムは、病院だけでなく、学校・駅の不審者対策や工場のライン監視などの用途が考えられ、さまざまな業種で活用が期待される。

◆お問い合わせ◆

株式会社 日立製作所 情報・通信システム社
情報・通信グループ
通信ネットワーク事業部
企業ネットワーク本部 ビジネス推進部
担当：杉浦
Tel：045-881-1221 (大代表)